

ランナー vol.31



↑HPはこちらから

2020年5月



編集長 石渡の巻頭ご挨拶

風の冷たさも和らぎ、道端でオレンジのナガミヒナゲシの花を見かけるようになりました。ポピーと同じケシの仲間で、風に揺れる姿が可憐で愛らしいですよね。しかし、このナガミヒナゲシは外来生物であり、非常に強い繁殖力を持っています。1株から作られる種子の数は10万粒以上とも言われ、そのままにするとものすごい勢いで増えるので、花壇の近くで見かけたら注意が必要かもしれません。



さて、vol.24から8か月編集長を務めさせていただきましたが、今号が私が担当する最後のランナーとなりました。次号から新しい編集長に交代となります。短い間ではありましたが、ランナーの編集を通じてたくさんのことを学ばせていただきました。拙い編集にも関わらず、ご愛読くださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。これからもどんどん進化していくランナーをよろしくお願いいたします。

□□

農林水産省ホームページにて、新型コロナウイルス感染症に伴う支援策が掲載されています。農林水産省以外の省庁の支援策についても取りまとめられていますので、下記URL よりご一読ください。

- ◆ 農林水産省ホームページ
「新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者・食品関連事業者への支援策」
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html

かわむーの千葉研究農場トマト便り



定植直後のCD区

千葉研究農場では先日、令和2年度最初の定植が終わりました。私自身初めての3人体制ということもあり1日で終わるか心配でしたが、無事に終わりホッとしております。今回定植したトマトは、6月に収穫開始予定となっております。



今年も梅雨のシーズンが近づいてきました。梅雨は温度・湿度管理だけでなく、灌水管理にも注意が必要です。一般的な養液栽培では、灌水制御に日射比例制御が用いられます。この制御方法は積算日射量に応じて灌水が行われるため、曇天や雨天時には給液回数が少なくなります。トマトでは、1日の無機成分吸収量は天候に関わらずほぼ同じなので、給液回数が減ると施肥量不足になることがあります。そのため、曇天や雨天が続く場合は給液濃度を高くする必要があります。

千葉研究農場では、日射比例制御に加えて最低灌水回数の設定ができる給液装置『養液王700』を使用しております。日射が少なくても設定した回数分は灌水が行われるので施肥量不足を起こしにくくなります。そういった設定ができない給液装置の場合は、タイマーや手動で給液回数を確認することが重要となります。給液の回数や濃度に十分注意しながら、適切な灌水管理を行ってまいります。



養液王 700
(日本オペレーター株式会社)

おともの作物と共に

今月のテーマは「パプリカ」です。
「パプリカ」と言えば、最近子供達にも人気のあの曲が浮かぶ方も多いのではないのでしょうか。

パプリカは野菜の中でも様々な色の品種が販売されており、甘みがあって食感もよく、食卓を色鮮やかに引き立ててくれるありがたい存在です。そんなパプリカですが、生物分類上はあの辛いトウガラシと近縁にあります。それぞれ大きさや特徴によって、小型で辛みの強いトウガラシ、小型で辛みの弱いシシトウ、中型で苦みのあるピーマン、そして大型で果肉の厚いパプリカ、と分けられています。日本ではオランダや韓国等からの輸入品が中心となっていますが、近年では国産パプリカが販売されるようになり、国内での生産量も少しずつ増えつつあります。

パプリカは原産地が熱帯の南アメリカと推定されており、比較的高温を好みます。品種により異なりますが、夜温は18~20℃ほどが適温となります。朝晩の温度差による結露等によって裂果や果皮の細かいひび割れが生じることもあるため、温湿度の管理が非常に重要です。また、トマトに比べると生産量を安定させることが難しく、毎日の収量に波が生じやすい傾向にあります。

栽培者の方々の愛情がたくさん詰まった甘くて美味しいパプリカ。国産パプリカをお店で見かけたら、ぜひ！食べてみてください。



福くんの栽培お役立ちコーナー

5月~7月の予報

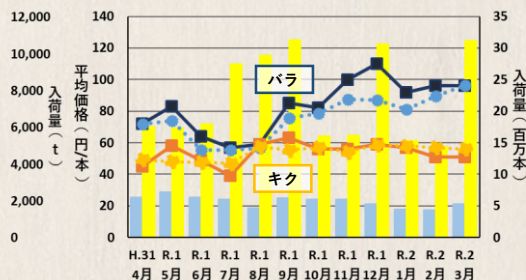
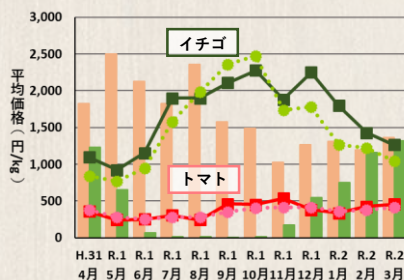
朝晩の冷え込みも和らぎ、初夏の気配を感じる季節となりました。昨年は5月に真夏並みの気温となり、7月は低温・低日照となるなど異常気象が多く、栽培管理においてとても頭の痛い思いをしました。

今年の予報を見てみると、7月はおおよそ例年並みの気温と降水量ですが、5月は例年より暑くなる予報となっています。早い時期での気温上昇は作業中の体への負担が大きくなるため、油断せず早めからこまめに水分補給や休憩をとるよう心がけましょう。

気象庁「3か月の平均気温・降水量」「月別の平均気温・降水量」を加工

地域		平均気温			降水量		
		5月	6月	7月	5月	6月	7月
北日本	日本海側	高い	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
	太平洋側		ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
東日本	日本海側	高い	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
	太平洋側		か高い	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	か多い
西日本	日本海側	高い	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	か多い
	太平洋側		か高い	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	か多い
沖縄・奄美		高い	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み

平均価格と入荷量の月別推移



		例年3月	R.2 3月	例年比
トマト	入荷量 (t)	6,091	5,472	90%
	平均価格 (円/kg)	416.6	458	110%
パプリカ	入荷量 (t)	3,505	5,272	150%
	平均価格 (円/kg)	1048.8	1266	121%
キュウリ	入荷量 (万本)	883	524	59%
	平均価格 (円/本)	96.2	96	100%
パプリカ	入荷量 (万本)	3,453	3,116	90%
	平均価格 (円/本)	56.2	51	91%

※ 東京都中央卸売市場より作成、例年値は平成14年~30年のデータを使用

